学校番号	207

令和８年度　文理探究科

教科	春高探究	科目	Advanced English I	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書							
副教材等	オリジナルワークシート						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

Advanced English I は、日本人の英語を第二言語（ESL）として学ぶ学習者のニーズに特化して設計された科目です。本コースのカリキュラムは、読解力、理解力、内容把握を重視する文部科学省の学習指導要領を補完・支援することを目的としています。さらに、学習者の自立性を育成するという大阪府の目標に沿い、実社会において言語を適切に使用するために必要な技能を身につけさせるとともに、状況に応じて最も適切な言葉や表現を選択する力を養うことを目指しています。また、日常的な言語使用と評価・試験場面に適した言語との違いを明確にし、それらを理解できるようにします。

Advanced English I では、時事問題、社会的テーマ、ニュース、文化理解を反映した、オリジナル教材を幅広く使用します。言語と文化が国際的な交流にどのような影響を与えるかについて考察させることで、グローバル化が進む経済環境の中でリーダーシップを発揮できる理解力と視点を育成することを目標としています。

Advanced English I は、学習者中心のタスクベース型学習（Task-Based Learning）を用いて学習者の成長を促します。教材は、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）における B2 レベルの評価基準を満たす内容となっています。導入段階では B3 相当の内容から開始し、学習者の技能や理解の向上に応じて段階的にレベルを高め、挑戦的かつ充実した学習を提供します。最終評価時には、教材は B2 または B1 レベルに到達することを目標としています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

- 考え、意見、態度を理解することができる。
- インフォグラフィックやその他の関連資料に含まれる情報を説明することができる。
- 英語の新聞、雑誌記事、インターネット上の意見サイトにおける考え、意見、態度を理解することができる。
- 明示的に述べられていない内容（要旨、筆者の目的・意図・感情）を読み取ることができる。
- ブレインストーミングやグループディスカッションにおいて、考えや意見を明確かつ正確、効果的に伝えることができる。
- 適切な接続表現を用いて、発言を展開し、考えをつなげることができる。
- 多様な文法構造や語彙を正確かつ効果的に使用することができる。
- 会話に積極的に参加し、対話を前に進めるために効果的に貢献することができる

【思考力、判断力、表現力等】

- 多様な文法構造および語彙を選択し、正確かつ効果的に使用することができる。
- 考えを説明したり情報を伝えたりするために、適切で関連性のある英語を使用することができる。
- 図表、文章、プレゼンテーションから得た情報をもとに、要約・説明・発展させて述べることができる。

- 聞き手・読み手のニーズを考慮し、目的に応じた適切な文体、語調、形式を用いることができる。
- 適切な接続表現を用いて、考えを一貫性のある段落にまとめることができる。
- 情報・考え・意見を、明確かつ正確、効果的に伝えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

- 学習者は、個人の学習目標を設定し、振り返りや自己評価を通して自身の学習の進捗を把握します。
- 自身の学習に責任を持ち、個々のニーズに応じて適切な学習方略や教材・資源を選択します。
- 教師の継続的な指導に依存することなく、フィードバックを自律的に活用して学習成果を向上させる力を身につけます。
- 教室内外において学習活動を計画・優先順位付けし、効果的に時間や課題を管理します。
- 自信と主体性を持ち、必修の学習内容にとどまらず、自ら進んで技能を実践・発展させる機会を探します。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	学習者は、言語の性質および言語学習に必要な技能について理解するようになります。 学習者は、さまざまな状況において、コミュニケーションのために言語を使用する方法、考えや意見を表現・交換する目的、ならびに情報を与えたり受け取ったりする目的について理解を深めます。 生徒は、学校生活や趣味など日常的に頻出するテーマについて英語での会話に抵抗なく取り組めるようになり、ネイティブスピーカーの自然な発話速度および発音の英語を理解する力を身につけます。また、文化的・言語的背景の違いを考慮しながら、世界中の人々と意見交換を行い、議論に参加するための基礎的な能力を習得します。	学習者は、他文化や多様な考え方に対する理解と関心を深めます。 学習者は、実践的な場面で英語に触れ、インフォグラフィック、ガイドブック、その他関連資料について話し合うために必要な技能を身につけます。 学習者は、実用的なコミュニケーションを目的として英語を効果的に使用できるようになり、英語で幅広い社会的・歴史的・時事的内容を理解する力を養います。さらに、多様なテーマについて自分の意見を積極的に述べることができるようになります。 英語を使用する進学または就業に必要な技能の確かな基礎を形成します。 CEFR B2～B1 レベル、約 500 語程度の教材に触れます。	学習者は、さらなる語学力向上への意欲を高めます。 学習者は、ブレインストーミングやディスカッションを通して、考えを共有し、自分の意見を表現できるようになります。 学習者は、自然な学習環境の中で、自身の技能を実践・発揮する機会を得るとともに、それに積極的に取り組もうとする意欲を育てます。 コーチングやメンタリングを通して、言語を学ぶ意欲を育成し、自律的に学習できる学習者の育成を目指します。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

1	意見表明	**Lesson 1** Getting to Know You **Lesson 2** Similarities and Differences **Lesson 3** Giving Additional Information **Lesson 4** Books, TV, and Film **Lesson 5** Talking about Travel **Lesson 6** Health and Fitness	学習者は、短い会話、日常生活、文化、生物学、スポーツなど、幅広い内容のリスニング教材を聞きます。回答の構成方法や、どのような状況でどの返答が適切かを学びます。多様な語彙や文法構造への理解を深め、それらを自分自身の回答に取り入れられるようになります。学習者は、日常的なコミュニケーション、特定の場面でのコミュニケーション、理論的・学術的な表現に関連するさまざまなフレーズや表現に触れ、それらを理解します。電子メールや手紙など日常的なコミュニケーションで使われる文章から、あるテーマについて意見を述べる表現まで、さまざまな短文の回答構成を練習し、実践します。 **b :** 学習者は、情報が自分たちの日常生活とどのように関係しているか、またさまざまな教科での自分たちの考えや学びが授業のトピックとどのように関連しているかを考える。海外の文化について考え、日本の文化とどのように比較できるかを検討する。共通点や相違点、そしてそれらの背景にある理由について考える。自分の意見を表現し、合意に達するためにクラスメートと意見交換を行い、議論を組み立て、情報を提供する。授業内容に関連する短い文章や情報の説明を読む。意味、要点、ニュアンス、目的を読み取る必要がある。 文を並べ替えて一貫した段落を作ることができ、状況について情報を提供するとともに、それに対する意見を表現できるようになる。 **c :** 習者は新しい情報を扱う必要があるため、自分の意見や考えを説明するための新しい語彙や表現を身につける必要がある。 自分の意見が他者の意見とどのよう	ワークシート 自由作文 テスト （リスニング） 成果物 振り返り	ワークシート 自由作文 テスト 作文 成果物 振り返り	ワークシート ペアワーク 成果物 振り返り

			に関係しているかを考える。他者の意見を考慮し、取り入れる自分自身の能力について振り返る。			
	研究プロジェクト	**Lesson 7 - Lesson 10** Group Presentations: 社会的・文化的・またはビジネスのテーマについて議論するグループ発表を準備する	a:学習者は、さまざまな情報源を用いてテーマを調査し、その分野に関する基礎的な知識を高める。 b:学習者は、情報源が適切かどうかを検討する。さらに、聴衆に自分たちの主張を説明するうえで、どの情報が関連しているかを考える。最後に、情報源の信頼性や信用性について検討する。 c:学習者は、グループのニーズを考え、自分の技能や知識がグループの目標にどのように貢献できるかを検討する。	グループプレゼンテーション	グループプレゼンテーション	グループプレゼンテーション
2	世界の中での自分の立ち位置について考えること	**Lesson 11** Agree or Disagree I **Lesson 12** Agree or Disagree II **Lesson 13** Prefer I **Lesson 14** Prefer II **Lesson 15** Inspirational People **Lesson 16** Holidays and Festivals **Lesson 17** An Object to Represent Japan	a: 学習者は、討論や利点・欠点に関するさまざまな英語を聞き、特定の意見や主張を支持する情報を聞き取る方法を学ぶ。データや事実を用いて、支持する表現とともに議論を裏付ける。さまざまな情報が提示された際に、議論を支持する情報や反論する情報を聞き取る能力を身につける。 b: 学習者は、情報がどのように解釈されうるかを考え、情報が議論に関連しているかどうかを分析する批判的思考力を養う。討論や他者の意見への対応を練習する。情報がどのように解釈されうるか、またその情報が議論を支持するのに十分信頼できるかどうかを理解する。 c: 他者の意見を基に合意形成を行う際に、適切に反論を構築する方法を理解する。自分の意見がどのように変化したかを振り返り、コミュニケーションを用いてどのように協力関係を築けるかを考える。	ワークシート 自由作文 テスト (リスニング) 成果物 振り返り	ワークシート 自由作文 テスト 作文 成果物 振り返り	ワークシート ペアワーク 成果物 振り返り

	マーケティング	**Lesson 18 - 22** 春日丘高等学校を紹介するパンフレットを作成する	a：生徒は、基本的なマーケティング手法およびマーケティングに関連する専門的な英語について学びます。 b:生徒は、情報の提示方法やマーケティング資料のデザインについて考えます。 c:生徒はグループで活動し、チームワークと個人の貢献の両方が評価されます。生徒は、グループを支援するために、自分のスキルや知識をどのように活用するのが最適かを主体的に考える必要があります。	マーケティング課題	マーケティング課題	マーケティング課題

3	データについて話す(SDGsと社会の変化)	**Lesson 23** Online Shopping Vs In-Store Shopping **Lesson 24** Streaming Media Vs Traditional TV **Lesson 25** Travelling Independently Vs Group Tours **Lesson 26** Paper Bags or Plastic Bags? **Lesson 27** Team Sports Vs Individual Sport	a: 学習者は、日常会話、議論、事実情報を含むさまざまな英語を聞きます。聞き取りを通して、聞き手に適した形でデータを提示し、情報を伝えることができるようになるための、多様な語彙や文法構造を練習します。さらに、英語のオンライン資料から情報を調査・収集し、それを整理・要約して発表用にまとめます。最後に、意味や目的を分析したうえで要約した情報を準備し、発表します。 b : 学習者は、情報がどのように解釈され得るかを考え、情報が議論にとって適切であるかどうかを分析するための批判的思考力を養います。さまざまな資料から情報を調査・要約し、それをどのように提示するのが最適かを検討します。適切な表現を用いてデータを提示し、それについて議論する必要があります。学習者は、主張を伝えたり議論を裏付けたりするために有用な情報を選択し、提示する能力を身につけ、さらにデータを提示して傾向、パターン、そして起こり得る結果について議論します。 c : 学習者は、明確かつ簡潔に話し、聴衆に好印象を与え、さらに自信とプレゼンテーション能力の両方を伸ばすために、主体的かつ自立した学習姿勢を取る必要があります。	ワークシート 自由作文 テスト (リスニング) 成果物 振り返り	ワークシート 自由作文 テスト 作文 成果物 振り返り	ワークシート ペアワーク 成果物 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度